



◇ {メニュー管理} メニューの概要

「メニュー管理」は、Win書庫V4.1で使用する全てのメニューのBldを管理します。Win書庫V4.1は、スタートメニュー起動時に、STSサーバーから最新の「Bldリスト」をダウンロードします。(STSとの通信を許可している場合。) このBldリストと、ご使用のコンピュータにインストールされているメニューのBldを比較し、ご使用のメニューが最新版かどうかを判断します。もし、ご使用のメニューが最新版でない場合は、STSサーバーからのアップロードを促します。

## 1. 起動画面

### 1-1 インストールされているメニューの一覧

メニュー起動直後に、Bldをチェックして一覧を表示します。

全てのメニューが最新版で、アップデートの必要がなければ次の画面が表示されます。

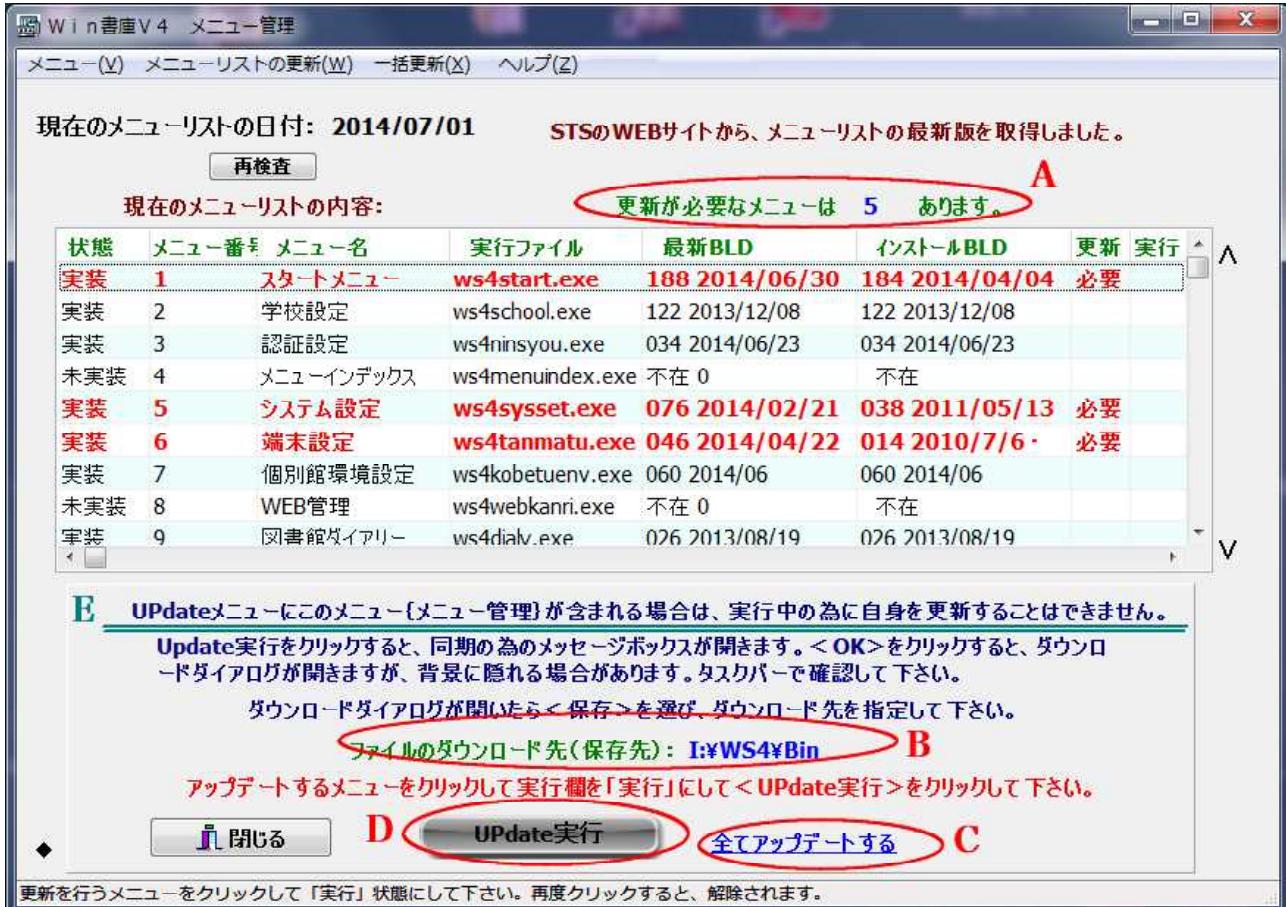
現在のメニューリストの内容:							
	状態	メニュー番号	メニュー名	実行ファイル	最新BLD	インストールBLD	更新 実行
1	実装	1	簡単起動メニュー	ws41kanrutan.exe	060	2020/02/24	062 2020/03/03
2	実装	2	カテゴリーメニュー	ws41category.exe	054	2020/02/25	054 2020/02/25
3	実装	3	検索端末メニュー	ws41kensakumenu	014	2018/05/02	014 2018/05/02
4	実装	4	ヘルプセンター	ws41helpcenter.exe	038	2020/02/25	038 2020/02/25
5	実装	5	目的からメニュー実行	ws41menuindex.exe	028	2020/02/25	028 2020/02/25
10	実装	10	起動端末確認	ws41kidoutanmatu.	014	2020/02/26	014 2020/02/26
11	実装	11	排他制御管理	ws41haitakanri.exe	020	2020/02/26	020 2020/02/26
12	実装	12	図書館ダイアリー	ws41dialy.exe	030	2020/02/25	030 2020/02/25
13	実装	13	WEBメッセージ	ws41message.exe	018	2020/02/26	018 2020/02/26

- A. STSが現在リリースしている最新版のリリース番号とBldリストの日付です。(起動時にWEBから自動取得) この日付があまり古いと、Bldリストそのものが更新されていない可能性があります。STSホームページから最新版をダウンロードして、再インストールすることをお勧めします。
- B. 現在インストールされているリリースバージョンです。この番号が、最新のリリースバージョンよりかなり小さいと、STSホームページから最新版をダウンロードして、再インストールすることをお勧めします。
- C. 全てが最新版であることを示しています。

**参考：既にインストールされている書庫に「上書きインストール」(再インストール)しても、運用中のデータには影響はありません。**

## 1-2 更新が必要なメニューがある場合の画面

ご使用のメニューに古いBLdが見つかると、次の画面が表示されます。



- A. 更新が必要なメニュー数を示します。更新対象のメニューは、一覧に「赤」表示され、「更新」欄に「必要」と表示されます。

更新を実行する前に、一覧から赤表示されているメニューをクリックすると、そのメニューの更新が実行対象となります。（「実行」欄に「実行」と表示）

- B. ダウンロードしたメニューを保存する場所が表示されます。

- C. 更新が必要なメニューを、全て更新対象にします。

- D. <UPdate実行>ボタンをクリックすると、選択したメニューを順にアップデートします。

次ページの手順へ

- E. (注意) Windowsでは、セキュリティ上の観点から、開いているファイル（実行しているメニュー）を、削除や更新しようとすると、エラーとなり、処理できません。従って、{メニュー管理}を実行している状態では、自分自身を更新することはできないのです。

{メニュー管理}を更新する必要がある場合は、メニューバー「ヘルプ」から「最新版をダウンロード」をクリックしてアップデートして下さい。この手順では、アップデート（ダウンロード）を開始する前に、自動的に {メニュー管理}を終了するため、更新が可能になります。

### 1-3 アップデートの手順

アップデート手順は、メニュー「リリース番号R4.1067」以降で大巾に変更されました。  
メニュー「ファイル」のダウンロードは、「メニュー更新プログラム」を起動して実行されます。

#### ◇ 「メニュー更新プログラム」の動作設定

メニュー「メニュー」から「メニュー更新プログラムの設定」を起動して、「メニュー更新プログラム」の動作設定を行います。

メニュー更新プログラムには、次の2つの動作モードがあります。

##### ・新手順でダウンロードする（初期設定）

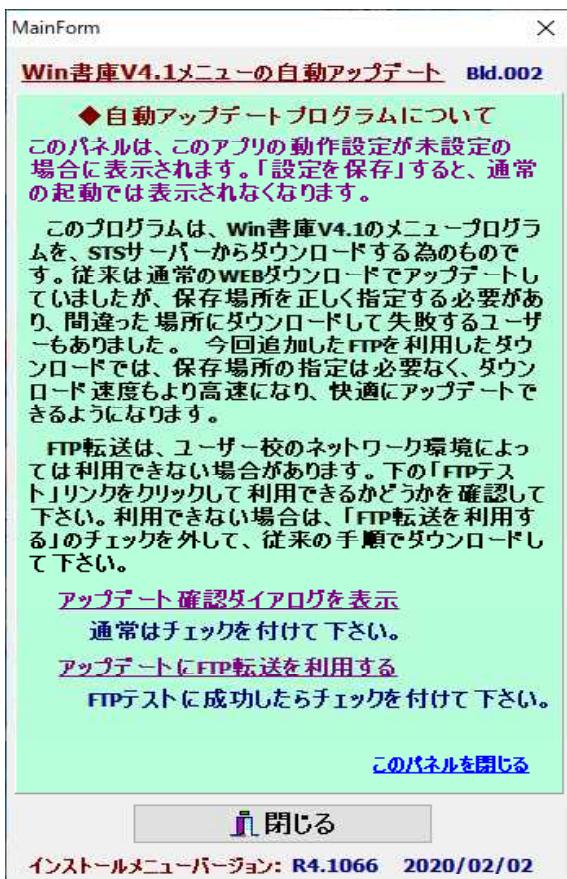
STSサーバーのアップデートファイルに対して、FTP転送によりダウンロードします。（FTP転送は、WEBダウンロードより高速で、保存場所などの指定は不要になります。）

##### ・旧手順でダウンロードする

STSホームページのアップデートファイルに対して、WEBダウンロード手順でダウンロードを行います。（Windowsのダウンロードセンターが開き、ダウンロード先の指定と保存または実行の確認があります。この時、正しい保存場所が指定されないなどが原因で、アップデートに失敗する場合があります。）

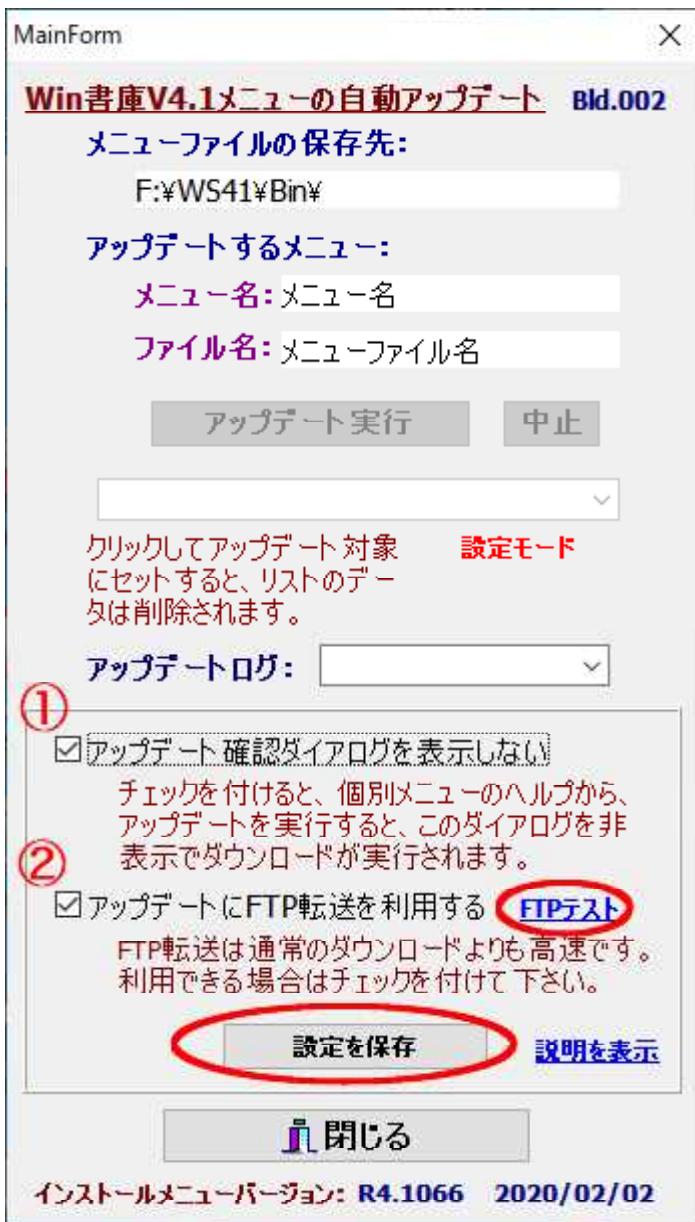
**注意：** 学校によっては、ネットワークのセキュリティ設定で、FTP転送が許可されていない場合があります。この場合は、新手順は利用できないので、旧手順（従来どおり）のアップデート方法となります。（新手順・旧手順は設定により選択できます。）

最初に起動した画面



メニュー更新プログラムを起動すると、簡単な説明パネルが表示されます。

動作の基本を理解して頂いた上で、「このパネルを閉じる」をクリックします。



動作設定は2項目あります。

①アップデート確認ダイアログを表示しない

動作設定を一度行うと、個別メニューからのアップデート時に、右のダイアログを表示させる必要はなくなります。従って、通常は「チェックを付けた状態」で運用して下さい。

②アップデートにFTP転送を利用する

FEPテストの結果が「FTP転送を利用できます。」の場合は、チェックを付けて運用して下さい。そうでない場合は、チェックを外し、従来の「WEBダウンロード」手順でアップデートします。

チェックボックスのチェック状態を確認して、<設定を保存>ボタンをクリックして下さい。

以上で「メニュー更新プログラム」の動作設定が完了します。設定を再度変更する場合も、同様の手順で行ってください。

参考：個別メニューの「ヘルプ>このメニューの最新版をダウンロード」からの利用

「メニュー更新プログラム」は、{メニュー管理}から利用するだけでなく、Win書庫のほぼ全てのメニューから起動することができます。その場合は、それぞれのメニューの最新版（その時点でSTSサーバーにアップされているプログラム）をダウンロードします。その際は、上記設定に従って動作するので、通常は次のように設定しておくことを推奨します。

- ・アップデート確認ダイアログを表示しない チェック有り
- ・アップデートにFTP転送を利用する チェック有り ※

上記設定で利用すると、最も効率よくダウンロードできます。

※FTP転送が利用できない場合は、チェックを外して下さい。

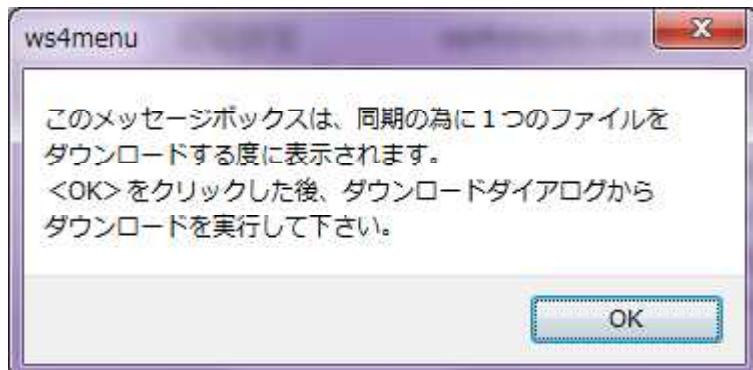
## ◇FTP転送を利用したダウンロード

FTP転送を利用すると、ファイルのダウンロード先（書庫セットアップドライブの「WS41￥Binフォルダー」）を指定する必要はありません。自動的に正しい場所にダウンロードします。

## ◇WEBダウンロードを利用したダウンロード

この手順は、ホームページからファイルをダウンロードする場合と同じです。操作はWindowsのバージョンや使用するブラウザにより異なります。以下の手順は、Windows10・Internet Explorerのバイイです。（Edgeの場合は、もっと簡単です。）

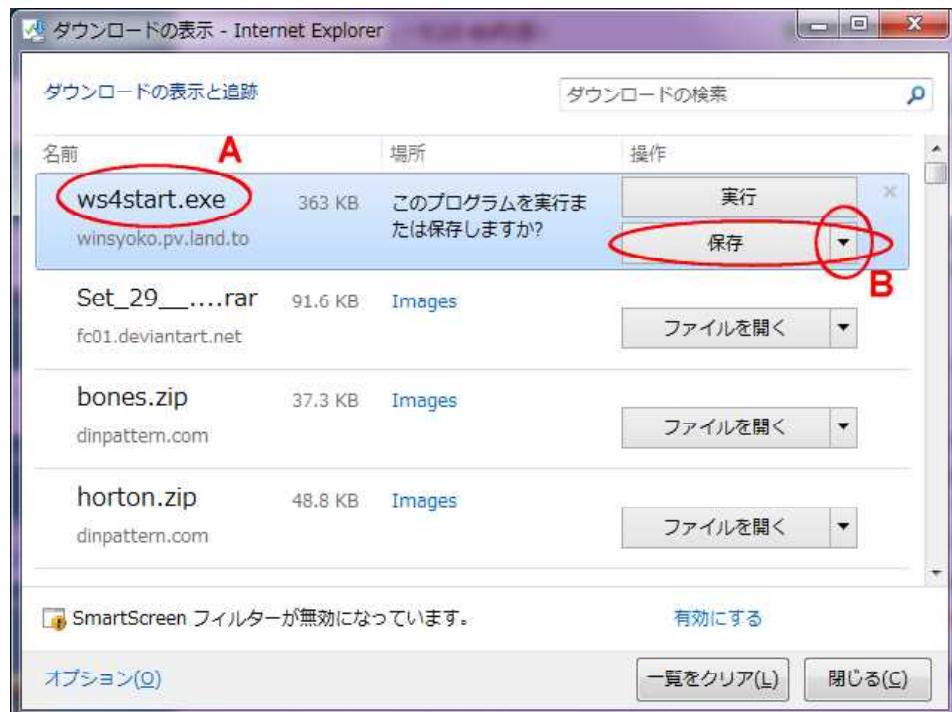
- ①<UPdate実行>ボタンをクリックすると、最初に次のメッセージボックスが開きます。



これは、1件目のダウンロードを処理する前に、2件目のダウンロードが表示されるのを防止する為のものです。

このメッセージは、処理するメニュー件数だけ繰り返し表示されます。

- ②「ダウンロードの表示」が表示されます。



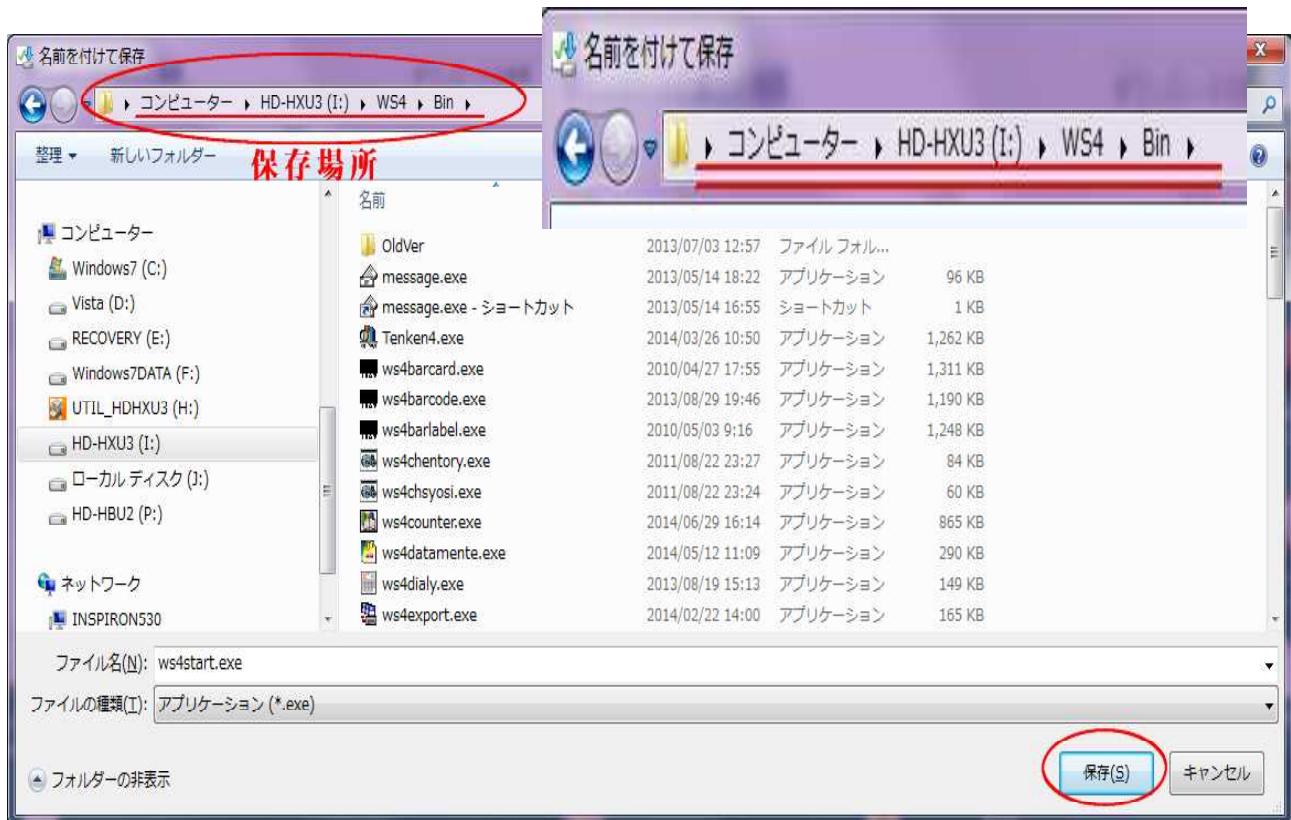
A. 今回アップデートするメニューファイル名。

B. <保存>の横の▼をクリック

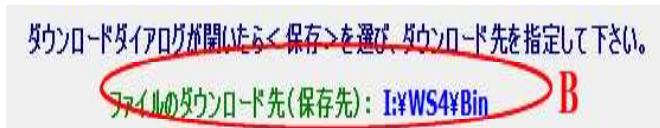


リストから、「名前を付けて保存」をクリック

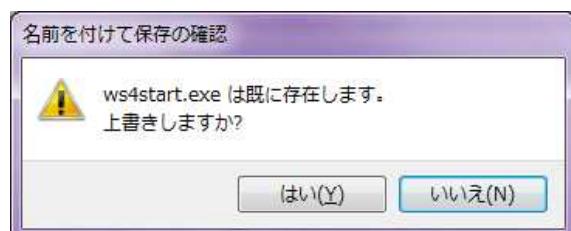
③ 「名前を付けて保存」ダイアログが表示される



保存場所（ダウンロード先）は、メニュー一覧画面の B に表示された場所です。（書庫インストールドライブの ¥WS4¥Bin フォルダー）



保存先を指定したら、<保存>ボタンをクリックします。



ほとんどの場合、既にメニューファイルは存在するので、「上書き保存の確認」があります。

④ 「ダウンロードの表示」を閉じます。



複数の更新メニューがある場合は、上記操作を繰り返し行います。

参考：Windows 7以降のバージョンでは、WEBからのファイルのダウンロードが、厳しいセキュリティチェックにかかります。その為、上記手順でのダウンロードが指定通りに行われない場合があることに注意して下さい。正しくダウンロードできない場合は、次の節で説明する「一括更新」または「全ファイル更新」を行って下さい。

## 2. 一括更新と選択メニューの更新

Win書庫V4.1 メニュー管理

メニュー(W) URLリストの更新(U) メニューリストの更新(X) 一括更新(Y) ヘルプ(Z)

Win書庫の最新リリースバージョン: R4.1066  
最新のメニューリストの日付: 2020/02/01

① R4.1066  
② 新版を取得しました。  
③

再検索

現在のメニューリストの内容: 更新が必要なメニューは、ありません。

状態	メニュー番号	メニュー名	実行ファイル	最新BLD	インストールBLD	更新	実行
実装	1	簡単起動メニュー	ws41kantan.exe	056 2020/01/18	060 2020/02/24		④ 実行
実装	2	カテゴリーメニュー	ws41category.exe	052 2019/12/27	054 2020/02/25		実行
実装	3	検索端末メニュー	ws41kensakume	014 2018/05/01	014 2018/05/01		実行
実装	4	ヘルプセンター	ws41helpcenter.exe	036 2019/11/14	038 2020/02/25		実行
実装	5	目的からメニュー実行	ws41menuindex	026 2019/07/11	028 2020/02/21		実行
実装	10	起動端末確認	ws41kidoutanmatu	012 2019/01/08	014 2020/02/26		実行
実装	11	排他制御管理	ws41haitakanri	016 2019/01/01	020 2020/02/20		実行
実装	12	図書館ダイアリー	ws41dialy.exe	026 2019/09/13	030 2020/02/25		実行
実装	13	WEBメッセージ	ws41message.exe	016 2019/06/27	018 2020/02/26		実行

UPdateメニューにこのメニュー【メニュー管理】が含まれる場合は、実行中の為に自身を更新することはできません。  
Update実行をクリックすると、同期の為のメッセージボックスが開きます。<OK>をクリックすると、ダウンロードダイアログが開きますが、背景に隠れる場合があります。タスクバーで確認して下さい。  
ダウンロードダイアログが開いたら<保存>を選び、ダウンロード先を指定して下さい。

ファイルのダウンロード先(保存先): F:\WS41\Bin  
アップデートするメニューをクリックして実行欄を「実行」にして<UPdate実行>をクリックして下さい。

④ UPdate実行

(推奨) 「メニュー更新プログラム」を起動して、Win書庫のメニューファイルのみを高速にアップデートすることが可能になります。

## ①メニューバー「一括更新」から「全ファイル更新」

クリックすると、全メニューを更新対象として、メニュー更新プログラムを起動します。(ダウンロード方法は、メニュー更新プログラムの設定に従います。)

**重要：FTP転送が利用できる場合は、今後のメニュー更新は、STSホームページのアップデートファイルで行うよりも、①の「全ファイル更新」を利用する方が簡単で高速になります。**

## ②メニューバー「一括更新」から「STSホームページから一括アップデート」

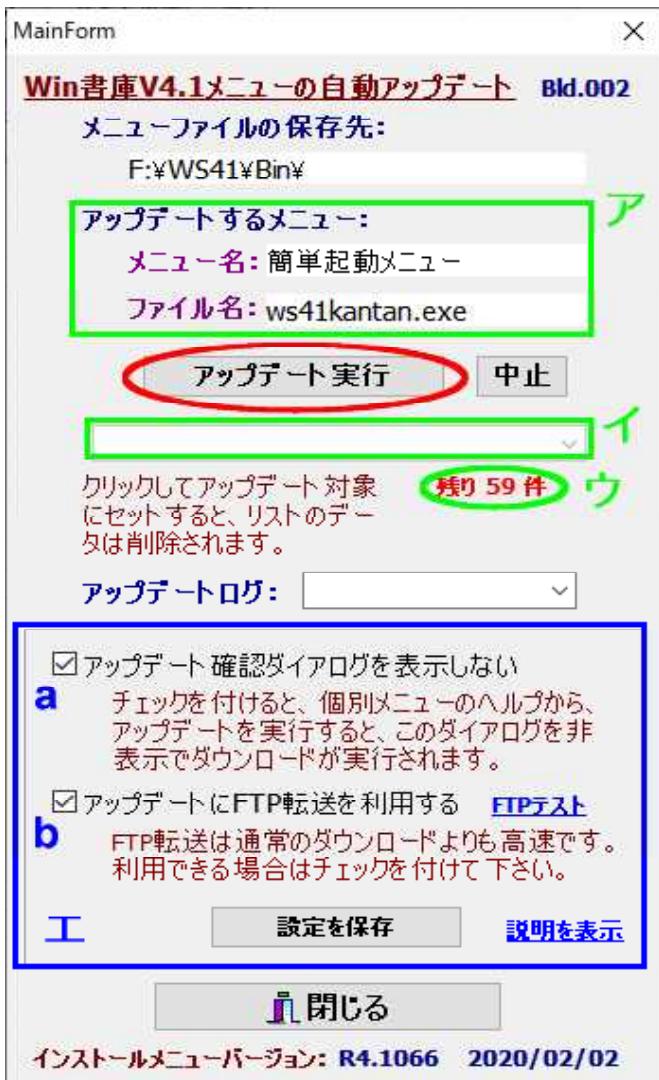
## ③メニューバー「一括更新」から「STSホームページからプログラムのみ再インストール」

②③はWEBダウンロード手順で更新を実行します。

## ④ <UPdate実行>

選択したメニューのみ、メニュー更新プログラムを起動してダウンロードします。

### ◇ 「メニュー更新プログラム」を利用してFTP転送する場合 (①④)



左は、①「全ファイル更新」を選択した場合の画面です。

ア. 更新対象のメニューファイルを表示

イ. 更新対象の全てのメニューファイルをリスト

ウ. 更新対象のメニュー残数を表示

エ. 更新プログラムの動作は、この設定に従います。

a) チェックを付けると、全てのメニューの更新を連続して実行します。チェックを付けなければ、1メニュー毎<アップデート実行>ボタンをクリックして更新します。

b) チェックを付けると、FTP転送でアップデートします。チェックを付けなければ、WEBダウンロードでアップデートします。

注意: WEBダウンロードの場合は、a)の設定に関わらず、1メニュー毎にダウンロードセンターが開きます。

### ◇ 「メニュー更新プログラム」を利用してWEBダウンロードする場合 (①④)

「メニュー更新プログラム」が表示される点は同じですが、<アップデート実行>ボタンをクリックすると、ブラウザの「ダウンロードセンター」が表示されます。

◇直接「WEBダウンロード」を利用してダウンロードする場合（②③）

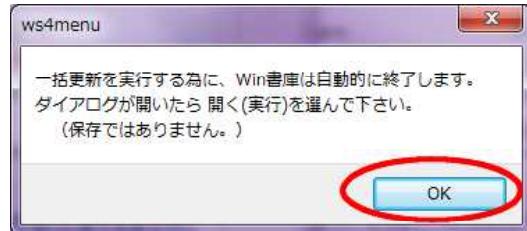
ブラウザの「ダウンロードセンター」が表示されます。  
(STSホームページの「Win書庫V4.1インストール」、「一括アップデート」をダウンロードする手順と同様です。)

2-1 全ファイル更新 メニューバー「一括更新>全ファイル更新」をクリック

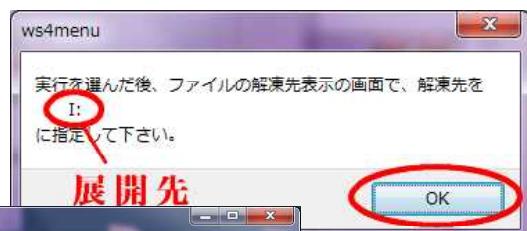
1ヶ月単位での修正メニューをパッキングしたファイルを、STSホームページからダウンロードしてアップデート行います。パッキングファイルは、毎月初めのアップ

ロードされ、前月1ヶ月間の修正を全て含んでいます。この修正を毎月行うことで、月単位で最新状態を保つことができます。

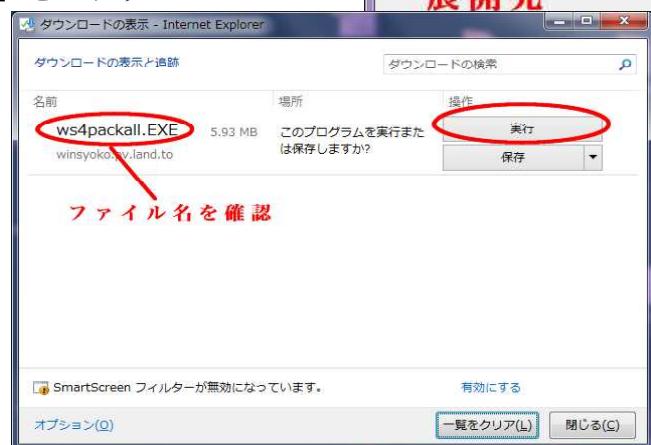
①「一括更新」をクリックすると、次のメッセージボックスが表示されます。



②「OK」をクリック

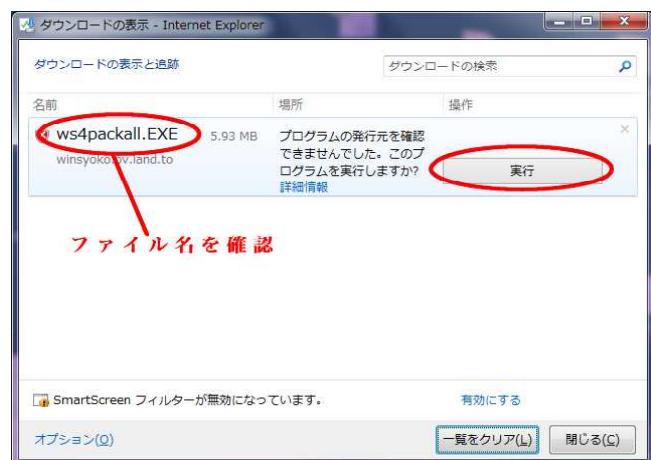


③「OK」をクリック

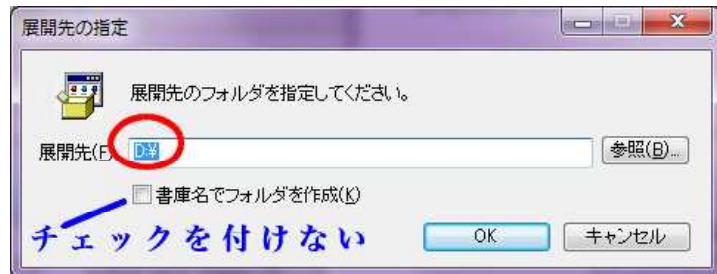


ダウンロードマネージャーが起動します。ここでは<実行>をクリックして下さい。(パッキングを解凍するので、<保存>ではありません。)

④「発行元が確認できない……」の警告が表示されますが、<実行>をクリックして下さい。

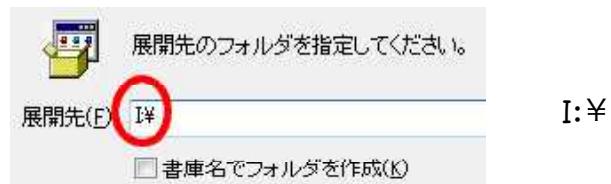


⑤展開先を確認し、もし違っていたら修正して下さい。  
(展開先は、②のメッセージズボックスで表示されます。)



※ 「一括更新」や「全ファイル更新」で指定する「展開先（解凍先）」は、「ドライブ名のみ」です。フォルダーではないので注意して下さい。

変更例：Win書庫V4が I ドライブ にインストールされている場合



## 2-2 全ファイル更新 メニューバー「全ファイル更新」をクリック

STSホームページにアップロードされている最新の「Win書庫V4インストールファイル」ダウンロードしてアップデート行います。既にV4がインストールされているドライブに、このファイルを使ってインストールを実行すると、「全ファイル更新」として動作します。既存のデータを初期化したり変更することはありません。

注意：展開先のドライブ名を間違えると、そのドライブにV4を新規インストールします。ドライブ名は、しっかり確認して下さい。

操作手順は、「一括更新」と同じです。

## 2-3 URLリストの更新 メニューバー「URLリストの更新」をクリック

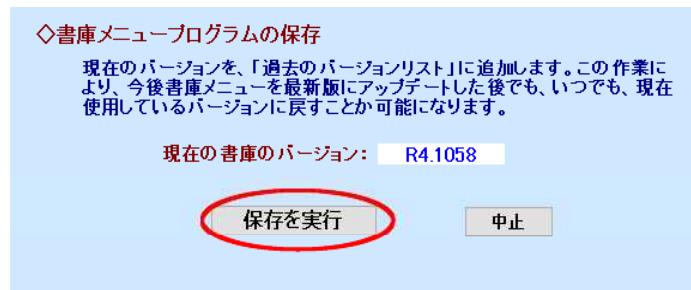
STSサーバーから、最新の「メニューダウンロード先アドレス」を取得します。

## 2-3 メニューリストの更新 メニューバー「メニューリストの更新」をクリック

STSサーバーから、最新の「メニューBldリスト」を取得します。

## 3. 過去のバージョン 書庫のメニュープログラムのバックアップを保存したり、復帰させたりします。

### 3-1 現在のバージョンを保存 メニューバー「メニュー」から「過去のバージョンの管理」→「現在のバージョンの保存」



＜保存を実行＞ボタンをクリックすると、現在のメニュープログラムが、保存場所にコピーされます。

現在のメニュー プログラムの場所：書庫セットアップ ドライブ ¥WS41¥Bin¥

過去のバージョンの保存場所： 書庫セットアップ ドライブ ¥WS41¥oldBin¥

### 3-2 現在のバージョンを保存

メニュー バー 「メニュー」から「過去のバージョンの管理」→「現在のバージョンに戻す」

#### ◇書庫メニュー プログラムを過去のバージョンに戻す

現在のバージョンを、指定した「過去のバージョン」で置き換えます。置き換えを実行すると、全てのメニュー プログラムが過去のバージョンに戻ります。一部のメニューのみを過去のバージョンに戻したい場合は、過去のバージョンの保存場所から手動で置き換えて下さい。  
保存場所 = WS41\oldBin フォルダー内

過去のバージョンの一覧：

R4.1058 : 2019/02/18  
R4.1059 : 2019/03/12

ア

復帰させる過去のバージョン：

復帰を実行すると、現在の書庫メニュー プログラムは、過去のバージョンに置き換わります。最新版に戻すには、STSホーム ページからインストール ファイルをダウンロードしてアップデートして下さい。

イ 一括復帰を実行

中止

ウ 個別のメニューを復帰させる場合はこちら

注意：書庫起動メニューに表示されるバージョンは、「過去のバージョン」ではなく、「最新バージョン」です。

#### ◇個別のメニューを過去のバージョンに戻す

ウ. <個別のメニューを復帰させる場合はこちら>をクリックすると、復帰可能なメニューのリストが表示されます。

エ. 復帰させるメニューを選択します。

選択したメニューの情報が表示されるので、このメニューを復帰させて良いかを確認して下さい。

オ. <復帰実行>をクリックすると、この [ファイル] が復帰します。

#### 復帰させるメニュー一覧：

- 1:簡単起動メニュー
- 2:カテゴリーメニュー
- 3:検索端末メニュー
- 4:ヘルプセンター
- 5:目的からメニュー実行
- 10:起動端末確認
- 11:排他制御管理
- 12:図書館ダイアリー
- 14:学校設定
- 15:システム設定
- 16:端末設定
- 17:環境設定
- 18:個別館環境設定
- 19:書誌登録
- 20:一括書誌修正
- 21:複本管理
- 22:蔵書統計
- 23:書誌検索
- 24:蔵書目録資料
- 25:公開書誌検索

復帰させるメニュー名：

18:個別館環境設定

実行ファイル名：

ws41kobetuenv.exe

Bld番号： 24

日付： 2019/01/03

復帰実行 オ

中止

処理終了

注意：「過去のバージョン」に戻すのは、アップデートした後に動作が不安定になった場合が想定されます。メニュー プログラムを「過去のバージョン」に戻した場合、必ずしも、過去のバージョンのリリース年月日の時点と同じ動作になるとは限りません。STSは、常に最新版で運用する事を推奨します。